

オーロラさんの館



エネルギーのある土地

作者 フルーツとタルト

M.I

12月の料理教室は、クリスマスメニュー。

「今日はクリスマスのビッシュドノエル(**bûche de Noël**)を作しましょう」

チョコレートクリームに三角形のコームで木の模様を作り、イチゴとフランソワーズで飾り付け。粉砂糖で雪を振りかけて出来上がり！

「デコレーションには、**co le jinsei**でも使っているものを用意してもらったわよ。好きな飾りを選んでね」

砂糖菓子のサンタクロースやトナカイ、**co le jinsei**特製のマカロンは、ピンク、グリーン、ホワイト、チョコレート。それに星形やリースのクッキーなど、見ているだけで楽しくなります。

「皆さん、出来上がったら、箱に入れてリボンをかけましょう～」

今日は今年最後の料理教室。**co le jinsei**のケーキと紅茶で今年の締めくくりです。

「今年の料理教室も楽しい一年だったわね」

「お料理の腕も上がったわよ」

「良い一年だったわ」

皆それぞれを振り返っていた。

私にとっては、めまぐるしい一年だった。

私は人から“石橋を叩くだけ叩いて結局渡らないタイプ”と言われるほど慎重派だ。しかし、時々突拍子もない行動でドン引きされる事がある。

数年前、それまで住んでいた小さなアパートから広い所に引っ越した。近所には銀行も大手スーパーもあるし、家賃も手頃。見事に自分たちの条件にピッタリの物件で、即決した。新たに住み始めた地域で話題のお店を開拓したり、広い部屋の開放感に喜びを感じたり、不満は無い...はずだった。

しかし、そのうち何故だか心身共にエネルギーが湧かなくなっている事に気づいた。それほど疲

れている訳でもないのに、仕事から帰ってくると何もする気になれないのだ。やがて家族の仕事も上手くいかなくなり、どうにも行き詰まってしまった。

問題を解決出来るだけの知恵も全く湧かず、オーロラさんに相談してみた。

オーロラさんは、オレオを撫でながら目を閉じた。

「それは土地が原因ね。エネルギーのある土地と、そうじゃない土地があるの」

「えー！この状況から抜け出すには、どうしたらいいんですか?!」

「エネルギーのある土地に家を建てて、しっかりと自分の基盤を作る事ね。そこで新たなスタートを切るのよ！」

私は軽い眩暈をおぼえた。

身の丈にあった生活が出来ていればいいと思っていたので、自分の人生の中で家を建てるなんて想像もしていなかった。何の準備も無く、現実的に建てられるとは思えなかった。「あのー...どうしたらいいか見当もつかないんですけど...(*_*;」

オーロラさんは余裕の表情で言った。

「土地の見極めは、私とオレオに任せてちょうだい。それからね、周りに居る人生の先輩方の、知恵や人脈を使うのよ！」

「今がやるべきタイミングだから、条件は整っているわ。きっと家は建つわよ！」

その言葉で私の心は決まった。

“今しか無い。この流れに乗らなければ、スランプからの脱出は出来ない”

揺るぎない気持ちで帰宅した私は家族に言った。

「あ、今年に家を建てた方がいいって話になったから」

「はいっっっっ？？？？」

これ以上悩んでいても、自分の知恵や力なんて、たかが知れている。何の解決も出来ないこの流れに乗って、人生の先輩方の知恵や人脈をお借りしようそれしか方法は無い。

そう家族を説得した。

それが今年の初めの事だ。

その後あり得ないほど一気に物事が動き出し、夏には新築の家に引っ越していた。毎日爽やかに朝を迎え、やる気がみなぎってくる。仕事が上手くいかず悩んでいた家族は、思ってもみなかった大手の会社に転職が決まり、重要なポストを任されるようになった。

働いていると、家にいる時間より会社にいる時間の方が長い人も多いだろう。それでも、やっぱり住む所は大事なものだと思い知った出来事だった。

「オーロラさん、今年もすっかりお世話になりました。ありがとうございました」

「メリークリスマス！」

